

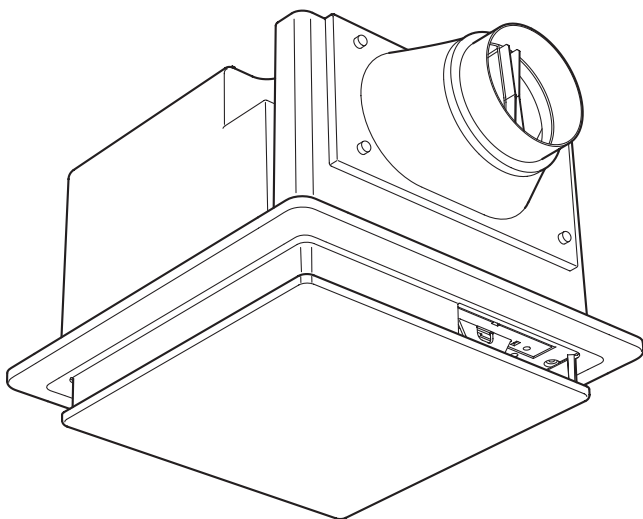
**工事説明書**

**Q-hiファン**  
(天埋熱交換形)

居室用

品番 **FY-12E** **FY-10E**  
**FY-8E** **FY-6E**

※それぞれ風量などの特性が異なります。  
据え付けの前に品番をご確認ください。



**お願い** この製品専用の付属品あるいは指定のもの  
(別売品) 以外は使用しないでください。

■同梱品

ルーバー ..... 1個

■付属品

- 風向板 ..... 1個
- 電源カバー ..... 1個
- タッピンねじ ..... 10個  
(アダプター・本体枠固定用)
- ねじ (電源カバー固定用) ..... 1個
- パッキン (ルーバー貼付用) ..... 4個
- パッキン (ダクト固定用) ..... 1個
- 取扱説明書 ..... 1冊  
(必ずお客様にお渡しください。)

■別売品 品番などはカタログでご確認ください。

ダクト (専用)	電動シャッター (専用)
ダクト (2層管) (φ100mm 2m)	屋外フード (専用)  スイッチ
ダクト (2層管) (φ100mm 1m) (2層管用継手1個付)	
2層管用継手	
2層管用エルボ	

・この工事説明書に記載されていない方法で  
施工され、それが原因で故障を生じた場合は、  
商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

**取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。**

**もくじ**

- 安全上のご注意 ..... 2~3
- 各部の名前と寸法 ..... 4
- 取り付け施工例 ..... 5
- 施工方法 ..... 6~裏表紙

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。  
(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



**警告**

■仕様変更・改造は絶対にしない



分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■交流100ボルト以外で使用しない



禁止

火災・感電の原因となります。



**注意**

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する



落下により、けがをするおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける



落下により、けがをするおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける



落下により、けがをするおそれがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなす



誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■浴室など、湿気の多いところに取り付けない



水場使用禁止

感電や故障の原因となります。

## お願い

### ■高温（40℃以上）になる場所には 取り付けないでください。

製品の変形やモーターの寿命を縮める原因となります。

### ■傾斜のある天井面には取り付けないでください。

結露水逆流の原因となります。

### ■ダクト長さは直管50cmから最大直管 10m相当までの配管としてください。 (5ページ参照)

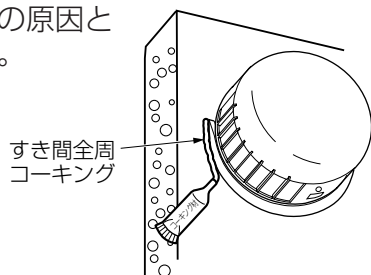
風量低下の原因となります。

### ■ダクトには断熱材を巻いてください。

結露の原因となります。

### ■屋外フードと壁とのすき間がない ようにコーキングしてください。

雨水浸入の原因となります。



### ■寒冷地（最低気温-5℃以下）には 取り付けないでください。

結露の原因となります。

### ■台所など、油煙の発生する場所や 有機溶剤がかかる場所には取り付け ないでください。

ルーバーなどの破損の原因となります。

### ■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を とってください。

勾配をとらないと、結露水が屋内側に  
流れます。

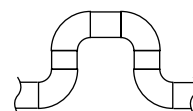
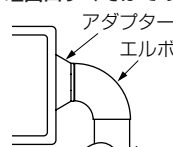
### ■点検口を設けてください。

保守点検ができません。

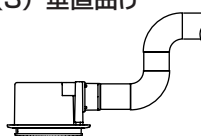
### ■次のような配管工事はしないで ください。

風量低下の原因となります。

- (1) 吐出口すぐそばでの曲げ (2) 多数回の曲げ

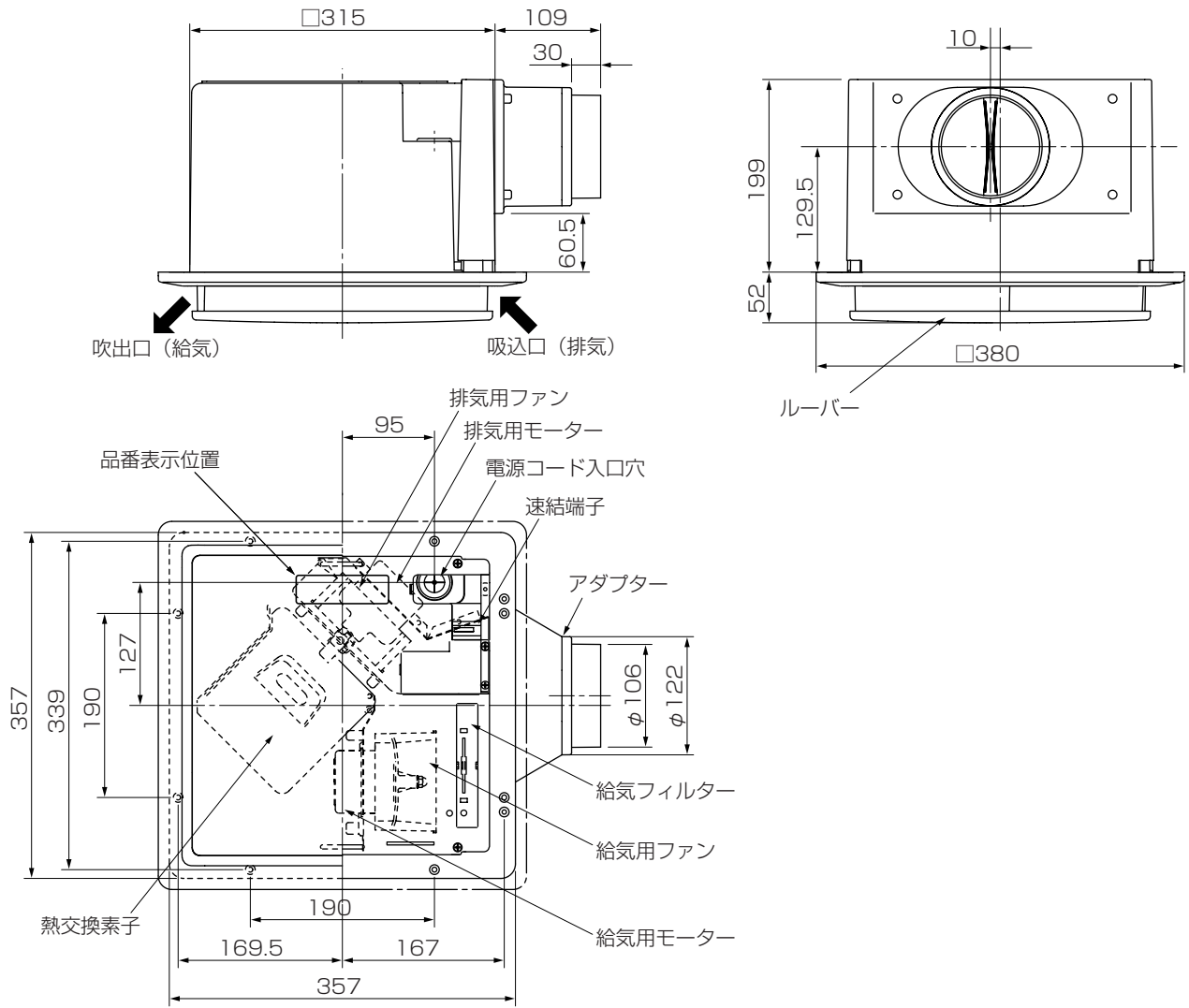


- (3) 垂直曲げ

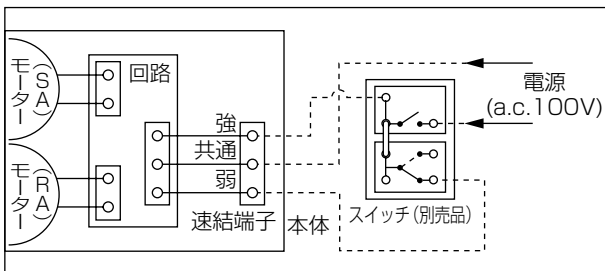


# 各部の名前と寸法

単位：mm



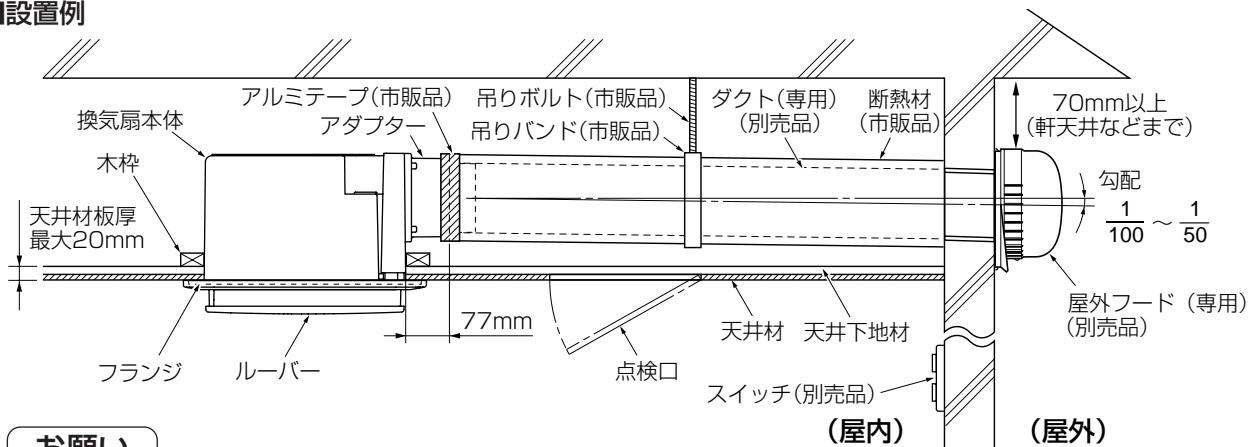
## ■結線図



スイッチはFY-SV12W (別売品) またはFY-SV12WC (別売品) をお使いください。

# 取り付け施工例

## ■設置例

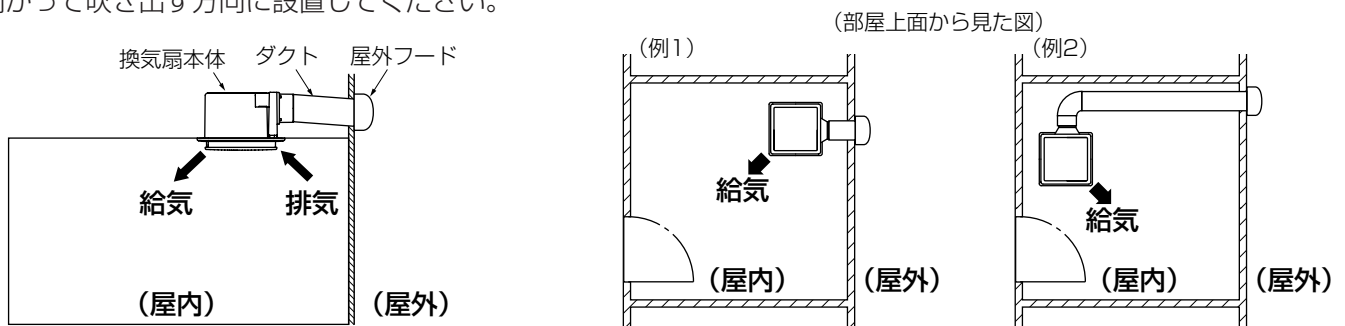


## お願い

- ※ダクトは必ず屋外側に勾配を設けてください。
- ※結露防止のためダクトに断熱材（グラスウール、厚み25mm程度）を巻いてください。
- ※ダクトと屋外フードは専用品をお使いください。
- ※天井材板厚は、最大20mmまで対応可能です。（10～11ページ参照）

## ■本体設置場所

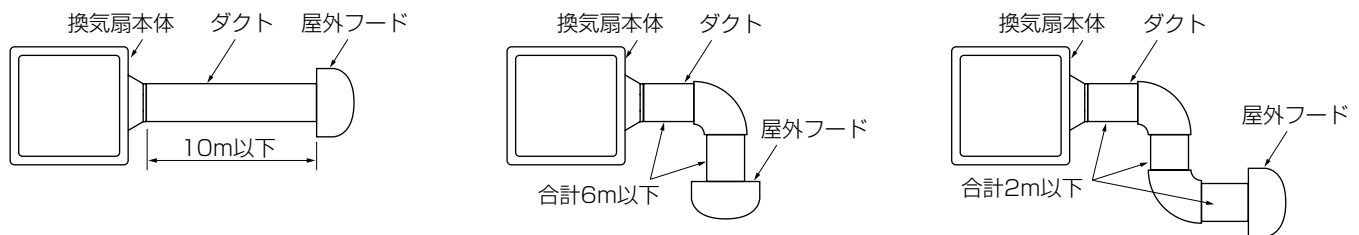
部屋中央から外壁よりの位置で、給気が部屋中央に向かって吹き出す方向に設置してください。



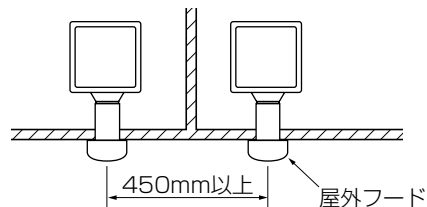
## ■ダクト長さは直管50cmから最大直管10m相当までの配管としてください。

下記の配管例（部屋上面より見た図）をご参照ください。

- ①直管10m以下+屋外フード    ②1曲り+直管6m以下+屋外フード    ③2曲り+直管2m以下+屋外フード



## ■隣接する屋外フードは450mm以上離して設置してください。

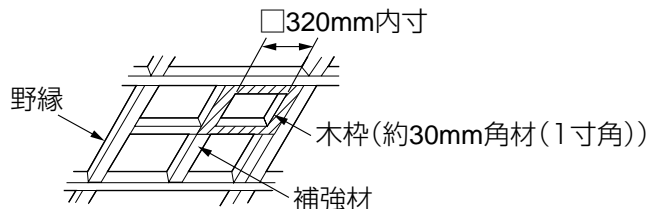


# 施工方法

## 1-a 本体枠の取り付けと電源の接続（野縁利用の場合）

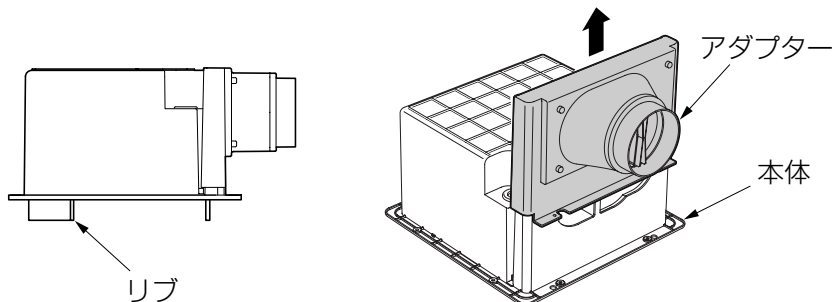
### ①木枠を作り、野縁に取り付ける。

- 木枠には補強材を設けるなど十分に強度を持たせてください。



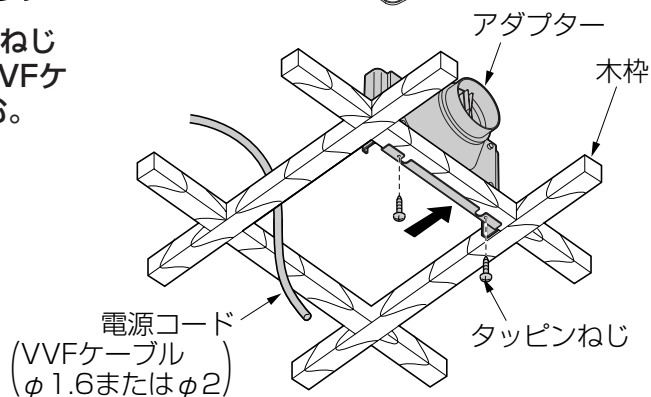
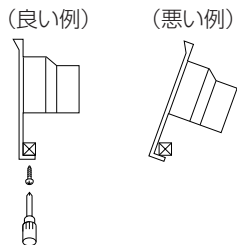
### ②アダプターを本体より、はずす。

- リップの損傷に注意してください。



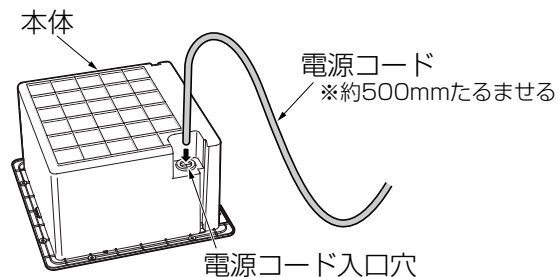
### ③アダプターを木枠に合わせて付属のタッピンねじ（2個）で取り付け、電源コード（市販品：VVFケーブルφ1.6またはφ2）を木枠内に引き込む。

- 傾いて取り付けないようにしてください。

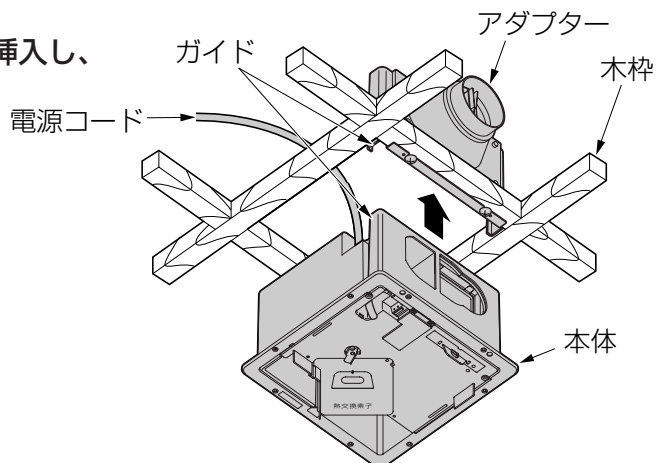


### ④電源コードを本体天面の電源コード入口穴より、本体内部へ入れる。

- 電源コードをまっすぐにのばして、本体内部にひっかからないように入れてください。

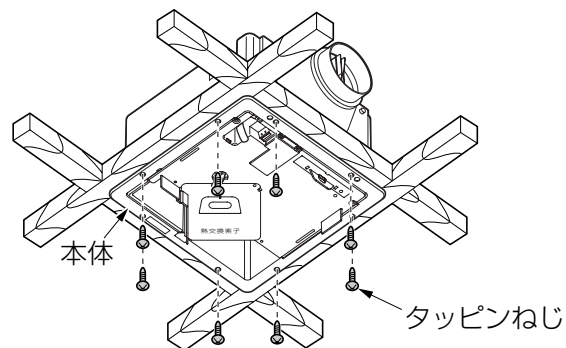


### ⑤本体のガイドをアダプターのガイドに確実に挿入し、本体を木枠に挿入する。

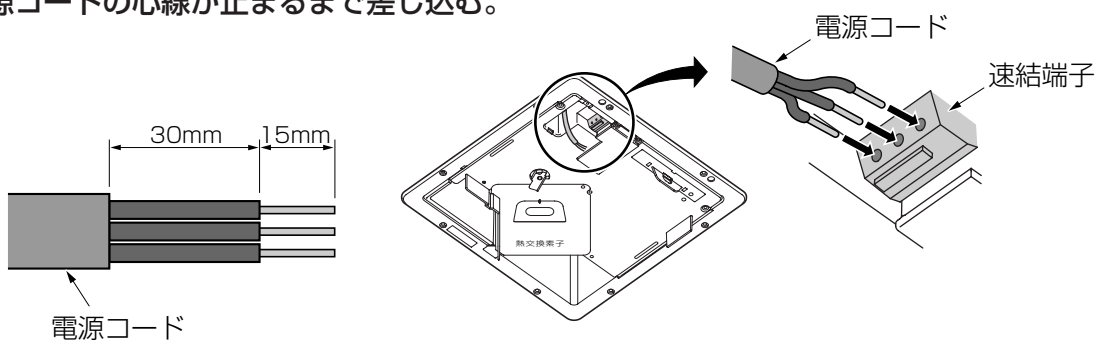


⑥ 本体を付属のタッピンねじ（8個）で取り付ける。

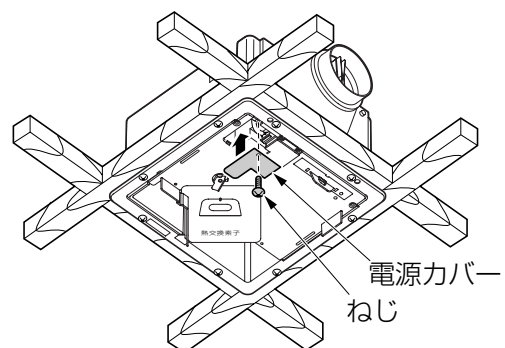
■ 本体の取り付けはすき間のないように、確実に取り付けてください。風漏れの原因になります。



⑦ 電源コードの先端を加工し、4ページの結線図に従って、速結端子に電源コードの心線が止まるまで差し込む。



⑧ 電源コードを本体内に押し込んだあと、電源カバーを図のようにねじ（1個）で固定する。

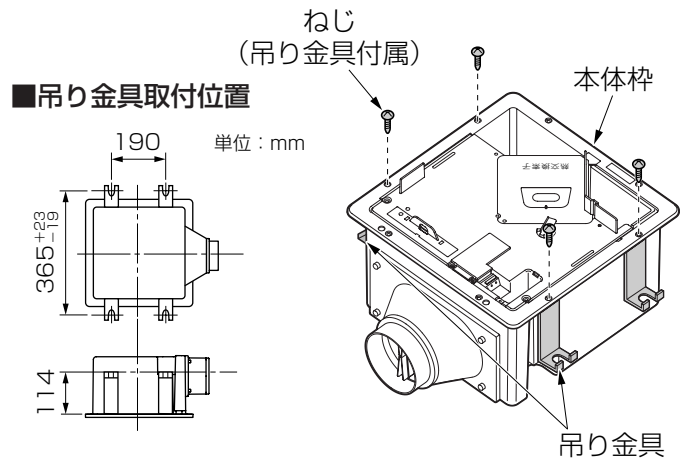


➔ 2 へ

# 施工方法 (続き)

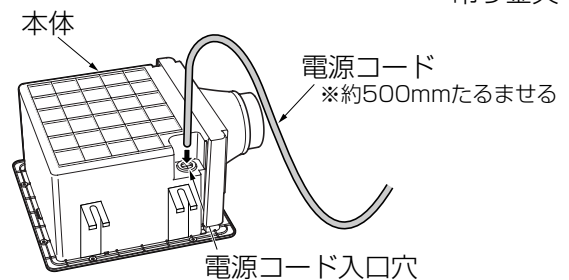
## 1-b 本体枠の取り付けと電源の接続 (吊りボルト利用の場合)

- ①吊り金具 (FY-KB081 別売品) 2セットを  
ねじ (吊り金具付属) で取り付ける。

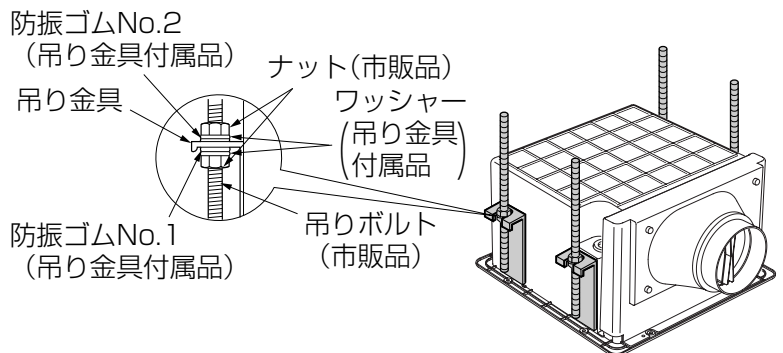


- ②電源コードを本体天面の電源コード入口穴より、  
本体内へ入れる。

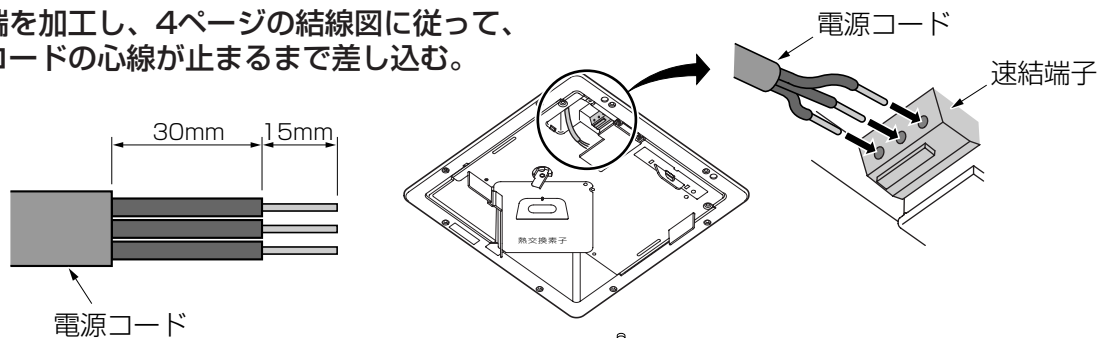
■電源コードをまっすぐにのぼして、本体内部に  
ひっかからないように入れてください。



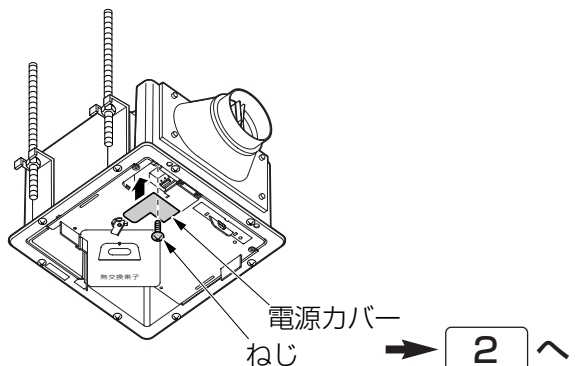
- ③吊り金具を吊りボルト (M8~M10)  
に取り付ける。



- ④電源コードの先端を加工し、4ページの結線図に従って、  
速結端子に電源コードの心線が止まるまで差し込む。



- ⑤電源コードを本体内に押し込んだあと、電源カバーを  
図のようにねじ (1個) で固定する。



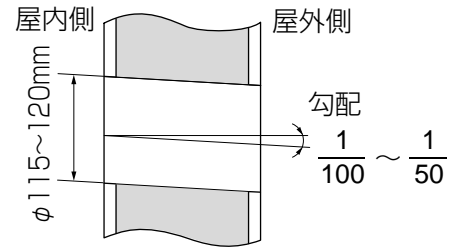
2



## 2 ダクトの接続と天井板の取り付け

- ①アダプター中心から勾配1/100~1/50をとった位置で、外壁にVU管用穴(φ115~φ120)をあける。

■穴が、すじかい、屋内配線、電話ケーブルなどにかからないように注意してください。

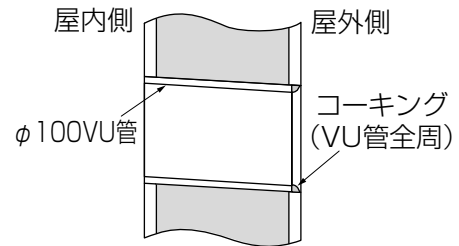


- ②φ100VU管を壁に埋め込む。

■VU管の端面が、屋外側壁面よりとび出さないようにしてください。

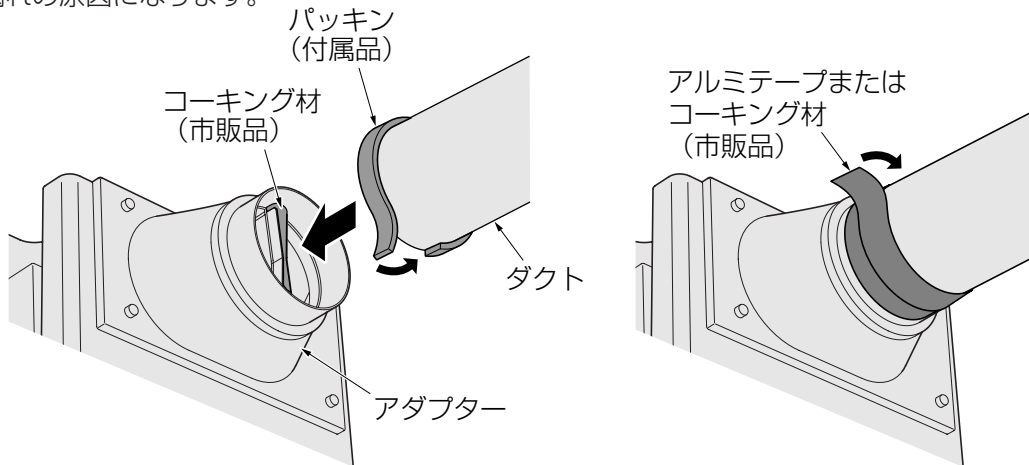
■VU管の周囲をコーキングし、確実に固定してください。

■バリが出た場合は取り除いてください。



- ③アダプターの先端部にコーキング材を塗布し、ダクトに付属のパッキンを貼り、ダクトを差し込み、アルミテープまたはコーキング材で確実に密封する。

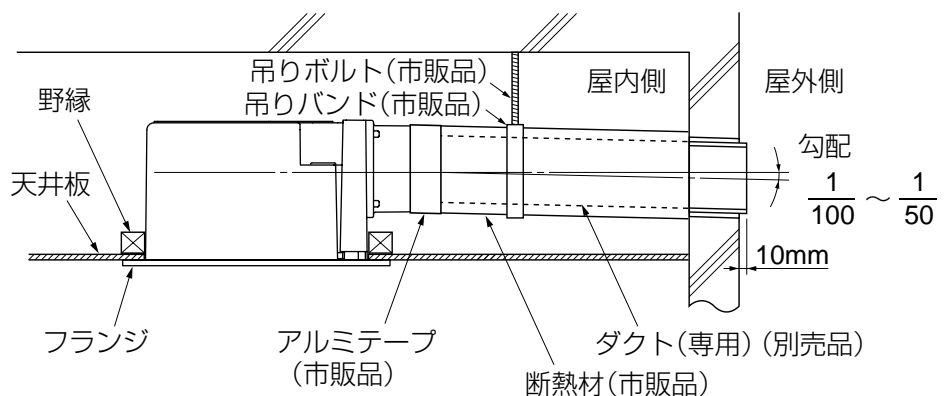
■風漏れや水漏れの原因になります。



- ④ダクトを施工する。

■ダクトを外壁面から10mm出るようにカットしてください。

■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

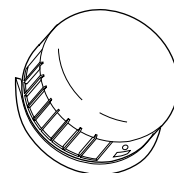


- ⑤ダクトに断熱材を巻く。

■結露の原因となります。

- ⑥外壁面に屋外フードを取り付ける。

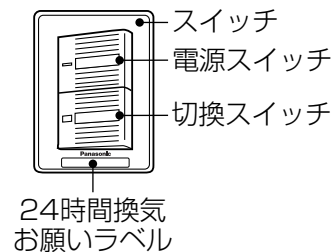
■屋外フードの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。



# 施工方法 (続き)

## 3 スイッチ (別売品) の接続

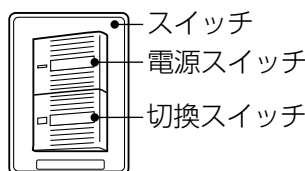
- ① 結線図にしたがって正しく結線する。  
 ■スイッチへの接続は、スイッチに付属の工事説明書をお読みください。
- ② スイッチに付属の24時間換気お願いラベルをスイッチまたはスイッチの近くに貼る。  
 (FY-SV12WCの場合は必要ありません。)



## 4 試運転とルーバーの取り付け

- ① 結線や取り付けに異常がないか確認する。
- ② スイッチを操作して換気扇の動作を確認する。

	電源 スイッチ	切換 スイッチ
通常の換気	入	強
寒く感じるときなど		弱
停止するとき	切	



■熱交換素子はずして、ファンが正しく回転していることを確認してください。

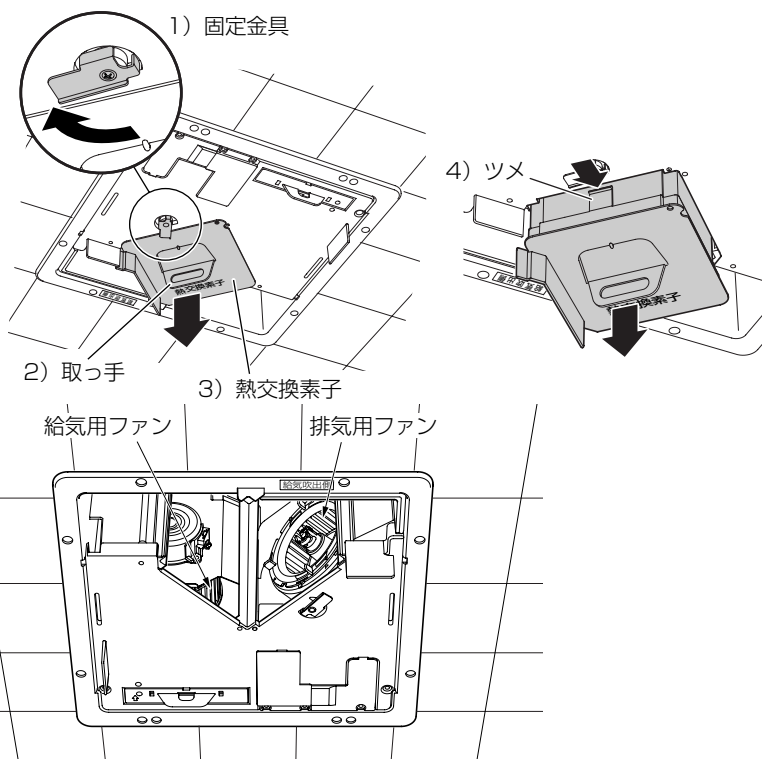
●熱交換素子のはずしかた

- 1) 固定金具をまわす。
- 2) 取っ手を引き起こす。
- 3) 熱交換素子を矢印の方向に少し引きだす。
- 4) ツメを押しながらさらに引きだす。

**お願い**

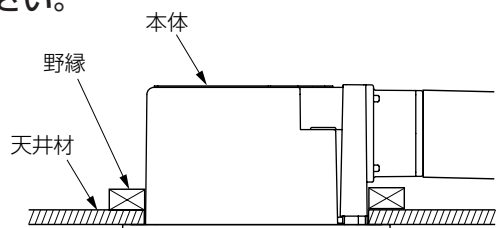
※ゆっくりと引き出してください。

- 5) 動作を確認後、熱交換素子をもとどおり取り付ける。



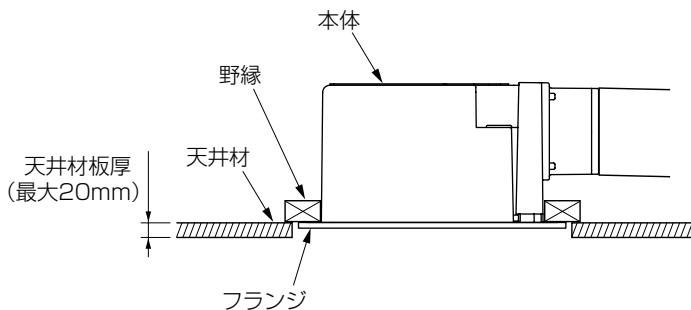
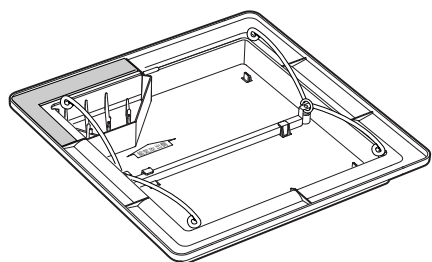
- ③ 本体設置場所が部屋の隅になる場合、部屋中央に向かって給気を吹き出すように、ルーバーに風向板を取り付ける。  
 ■取り付け方は、裏表紙の「風向板の取り付けかた」をご参照ください。

- ④ 本体のフランジが天井材に直付けされていない場合は、付属のパッキンをルーバーに貼り付けてください。

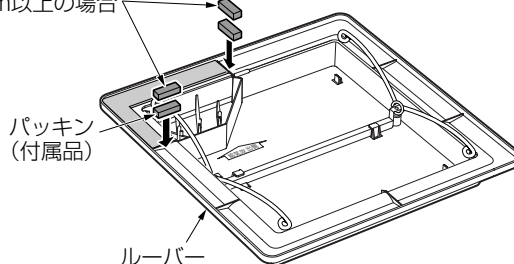


フランジ (天井材に直付け)

パッキンを貼る必要はありません。



天井材の板厚が  
15mm以上の場合

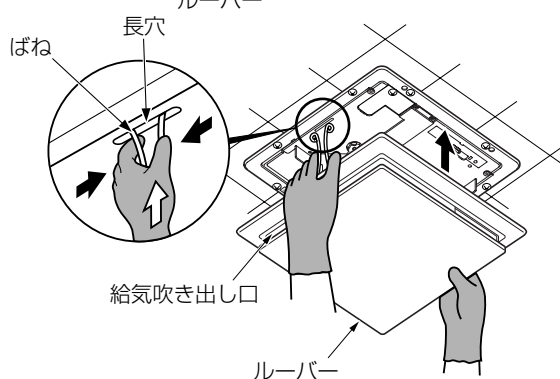
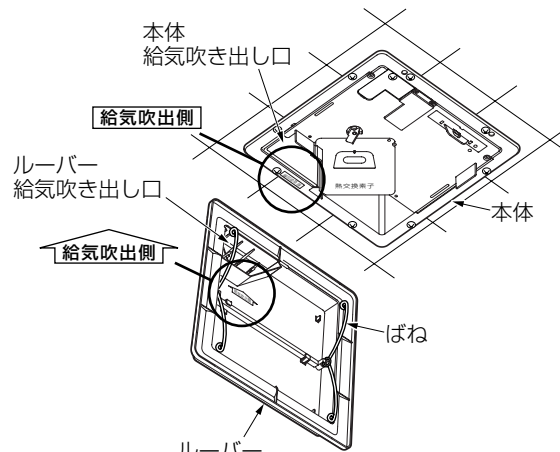


- 天井材の板厚が15mm以上の場合は、パッキンを2枚かさねて貼り付けてください。

- ⑤ ルーバーの「給気吹出側」を本体の「給気吹出側」にあわせ、ばねをせばめてルーバー取付穴に差し込む。

- ⑥ ルーバーの給気吹き出し口に本体の給気吹き出し口が入るように、ルーバーを真下より取り付ける。

- ⑦ スイッチを操作してルーバーの給気吹き出し口から風が出ていることを確認する。

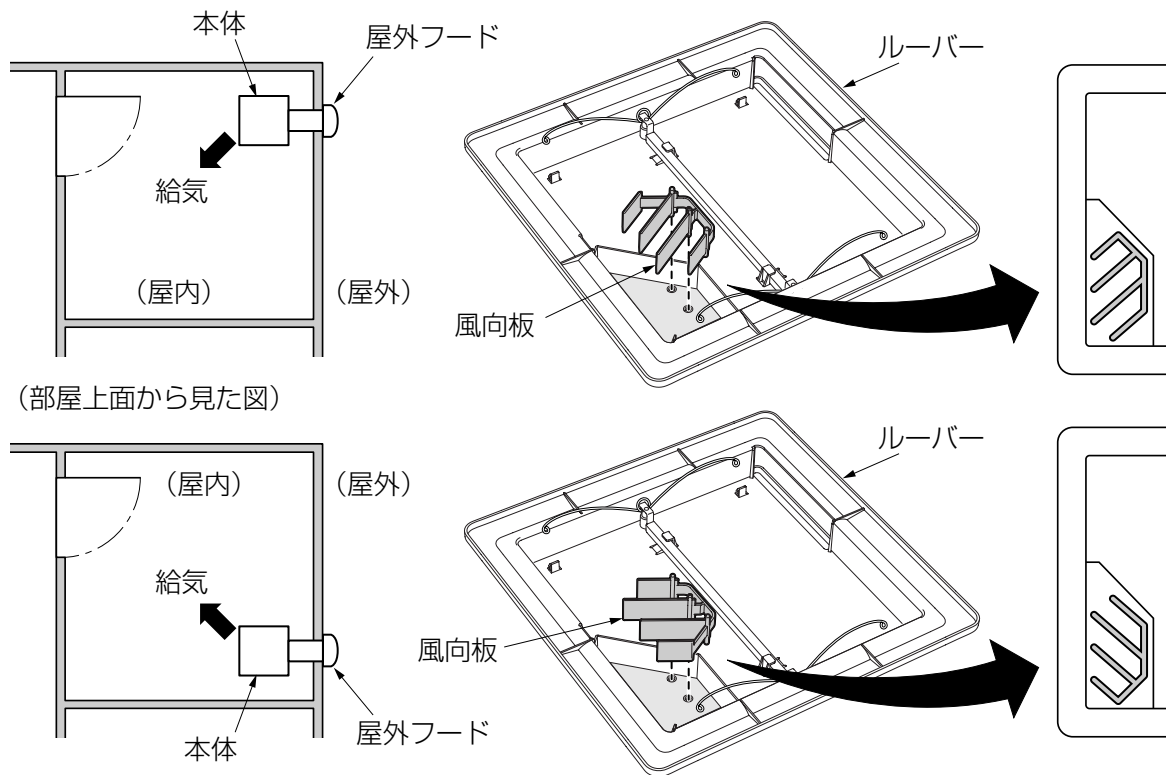


# 施工方法 (続き)

## 5 風向板の取り付けかた

本体設置場所が部屋の隅になる場合、部屋中央に向かって給気を吹き出すように、ルーバーに風向板を取り付ける。

※取付方向にご注意ください。



パナソニック株式会社  
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2008

12EZZ4032D-P0804-4012